

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学物質等及び会社情報

会社名 : マルイ鍍金工業株式会社 姫路工場  
 住所 : 兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南1-29  
 担当部門 : 技術部  
 電話番号 : 079-246-1124 FAX 番号 : 079-245-8601  
 緊急連絡先 : 姫路工場技術部  
 作成年月日 : 2020年12月25日

整理番号 SDS-022

化学物質名(製品名) : めっき工房 標準 金めっき液用途 : 金めっき

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	火薬類 : 分類対象外 可燃性・引火性ガス : 分類対象外 可燃性・引火性エアゾール : 分類対象外 支燃性・可燃性ガス : 分類対象外 高压ガス : 分類対象外 引火性液体 : 区分外 可燃性固体 : 分類対象外 自己反応性化学品 : 区分外 自己発火性液体 : 区分外 自然発火性固体 : 分類対象外 自己発熱性化学品 : 区分外 水反応可燃性化学品 : 区分外 酸化性液体 : 区分外 酸化性固体 : 分類対象外 有機化酸化物 : 分類対象外 金属腐食性物質 : 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口) : 区分外 急性毒性(経皮) : 区分外 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない 急性毒性(吸入:粉塵) : 分類対象外 急性毒性(吸入:ミスト) : 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 : 区分外 眼損傷性/眼刺激性 : 区分3 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 分類できない 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	: 分類できない
	水生環境有害性（慢性）	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない

## GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

危険有害性情報なし又は判定区分以上に達していない

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : 危険有害性情報なし

注意書き

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・取扱い作業は、換気の良い場所で行ってください。
- ・取扱い中は、保護めがね、ゴム前掛け、マスク、保護手袋等の保護具を着用してください。
- ・目に入らないように注意してください。
- ・皮膚や着衣に付着しないように注意してください。
- ・薬品がこぼれた時は、迅速にウエス等で必ず拭き取ってください。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを行ってください。
- ・容器は子供の手の届かない場所に、必ず密栓をして保管してください。
- ・容器は必ず洗浄して処分してください。

## 3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区分：混合物

成分名 : 亜硫酸金ナトリウム 無機酸塩 有機酸塩 有機酸 水

化学式又は構造式 :  $\text{Na}_3\text{Au}(\text{SO}_3)_2$   $\text{H}_2\text{O}$ 

CAS No. : 19153-98-1 7732-18-5

官報公示整理番号 : (1)-1206

含有量（重量％） : 0.7～0.9% 6～8% 4～5% 0.1～0.3% 85～90%  
(Auとして0.2%)

## 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者は直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。体を毛布でおおい、保温し安静を保つ。直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染した衣服等を脱がせ、製品に触れた部分を水で流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。外観に変化が認められたり、痛みが続く場合は直ちに医師の診察を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で最低15分間洗眼し、直ちに眼科医の診察を受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと眼に障害を生じるおそれがある。
飲み込んだ場合	: 水でよく口のなかを洗わせる。無理に吐かせない。速やかに医師の診察を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 水、泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 火災時などの熱分解生成物は、硫黄酸化物（亜硫酸ガス・硫酸等）、窒素酸化物、CO、CO <sub>2</sub> 、有機酸のガス又は蒸気である。その他、アルカリ金属酸化物、金酸化物のガスやヒューム。
特有の消化方法	: 火元への燃料源を断ち、消火器を使用して消化する。
消火を行なう者の保護	: 耐熱着衣、ゴーグル、防毒マスク、保護手袋等

## 6、漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

: 風下の人を避難させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。必ず保護具を着用し、風上から作業する。

環境に対する注意事項 : 漏出物が、河川等に排出されないように注意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材

: 少量の場合、漏出した薬品はウエス等に吸着させて空容器に回収する。その後、水でよく洗い流す。

多量の場合、漏出した薬品は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、できるだけ空容器に回収する。

## 7、取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・取扱いは局所換気装置を設置するなどして換気のよい場所で行う。
- ・取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
- ・取扱いの都度、容器を開閉する。容器を開く前に内圧に注意する。
- ・吸込んだり、皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにするため、保護具を着用する
- ・容器を転倒させ、落下させたり衝撃を加えたり、また引きずる等乱暴な取扱いをしてはならない。
- ・取扱った後は、手、顔等を洗浄する。

保管

- ・室内倉庫の換気のよい冷暗所に保管する。
- ・一度開封された容器は注入口をウエス等できれいに拭き取り、完全に密封して保管する。
- ・酸類、酸化剤（酸化性物質）、還元剤から隔離して保管する。
- ・盗難又は紛失することがないように施錠場所に保管する。

## 8、暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 未設定

設備対策 : 局所換気、シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具 : 防塵マスク。必要に応じ、有機用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、ゴーグル、保護手袋ゴム前掛け、ゴム長靴等を使用する。

衛生対策 : この製品を使用する際は、飲食をしない。取扱い後はよく手を洗う。

## 9、物理的及び化学的性質

外観等 : 黄色透明液体

臭い : 無臭

pH : 7.8

融点 : <0°C

沸点 : >100°C

引火点 : 不燃性

爆発範囲 : 不燃性

蒸気圧 : データなし

密度 : 1.05g/cm<sup>3</sup>(25°C)

溶解度 : 水に任意に混和

**1 0、安定性及び反応性**

安定性	: 通常の取り扱いにおいて安定
反応性	: 通常の取り扱いにおいて安定
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害のある分解生成物	: なし
避けるべき条件	: 加熱

**1 1、有害性情報**

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚、粘膜を刺激する事がある
眼損傷性・眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

**1 2、環境影響情報**

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層有害	: データなし

**1 3、廃棄上の注意**

国又は都道府県の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。  
容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。

**1 4、輸送上の注意**

国際規則	
国連番号 (UN No.)	: 該当なし
国連品名	: 該当なし
国内規則	
海上規制情報	: 船舶法の規定に従う
航空規制情報	: 航空法の規定に従う
海洋汚染物物質	: 該当する (Z 類物質)
特別の安全対策	: 運送に際しては、容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にこなう。

**1 5、適用法令**

労働安全衛生法	: 第 57 条 2 名称等を通知すべき有害物質に該当しない
毒物及び劇物取締法	: 毒物・劇物に該当しない
化学物質管理促進法	: 指定化学物質に該当しない
航空法	: 施行規則第 194 条危険物に該当しない
船舶安全法	: 危規則第 3 条危険物に該当しない
消防法	: 第 2 条危険物に該当しない
その他、都道府県および市町村で定める条例・指針等	: 従う

## 16、その他の情報

---

### 参考文献

- ：化学品の分類及び表示に関する世界調和システム 化学工業日報社
- 製品安全データシート作成指針 日本化学工業協会
- 航空危険物規則法書 航空危険物安全輸送協会
- 13700の化学商品 化学工業日報社
- 緊急時応急措置指針 日本化学工業協会
- 2000TLVs and BEIs ACGIH
- 毒物及び劇物取締法令集 薬務公報社
- 化学物質管理促進法/労働安全衛生法対象物質データ 化学工業日報社
- 化学品安全管理データブック 化学工業日報社
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構 HP
- 原料各社 SDS また MSDS

### 注意

- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・本文書の記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成していますが、情報の正確さ・安全性を保証するものではありません。
- ・すべての化学製品には、未知の有害性がありえるため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・安全な取扱い方法は、ご使用者各位の責任において、この情報を参考に決定して下さいますようお願い申し上げます。
- ・当社のMSDSは、新しい知見、試験等により、予告なく改訂することがあります。